

令和4年度「スーパーサイエンスⅡ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	理数	探究	SS	2	必修
教科書					
副教材					

学習の目的	
SSHⅤ期で育成する人材像として掲げる「イノベーション人材」に求められる以下の資質・能力の向上を目指す。	
1	科学者に必要な哲学的思考や倫理観を兼ね備えた高度な科学的探究力
2	独創性と創造性に富んだ課題発見能力
3	変化する社会に対する応用力

学習の目標	
I 知識・技能	対象とする事象について探究するために必要な深い知識及び技能を身に付けている。
C 思考・判断・表現	多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を自ら設定して探究し、課題を解決する力を身に付けている。
E 学びに向かう力・人間性等	- 様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとしている。 - 探究の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

つきたい力	- 科学者に必要な哲学的思考や倫理観を兼ね備えた高度な科学的探究力 - 独創性と創造性に富んだ課題発見能力 - 変化する社会に対する応用力
-------	---

評価方法
◇ 課題研究の過程、研究論文、プレゼンテーション、研究ポスター等について、「二高ICEモデル」ルーブリックを用いた検証を行い、生徒の質的な変容を調査する。評価の形態は、自己評価、生徒間評価(相互評価)、指導者評価により検証する。校内における発表会では、外部機関から審査員を招き、指導・助言をいただく。

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 授業の時間だけではなく、日頃から研究に対するヒントやアドバイスを求めるようにしましょう。
◇ 先を見通して、計画的に物事を進めていきましょう。
◇ 自身の研究テーマを大事にしましょう。
◇

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	オリエンテーション						
	5	研究テーマ設定 探究活動	身近で素朴な疑問から、地球規模で考えられている諸問題について向き合い、自身が取り組みたいテーマを科学的視点をもって取り組む。		先行研究等は適切に行われたか。	○	○	○
	6	探究活動	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動を進める。		仮説設定について、もう一度見直す。	○	○	○
	7	探究活動 中間報告会	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動を進める。		結果・考察について、社会的に意味のあるものが得られているか。	○	○	○
第2学期	9	探究活動 要旨・スライド作成	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動をまとめる。		わかりやすいスライドを作成するために必要な手段・方法を十分に講じているか。	○	○	○
	10	課題研究中間発表 探究活動・追実験	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動をまとめ、さらに発展を目指す。		中間発表を受けて、更に新しい仮説の設定から実験、検証、考察・まとめのスパイラルが構築されているか。	○	○	○
	11	理数科課題研究発表会	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動をまとめ、さらに発展を目指す。		中間発表を受けて、更に新しい仮説の設定から実験、検証、考察・まとめのスパイラルが構築されているか。	○	○	○
	12	探究活動・追実験	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動をまとめ、さらに発展を目指す。		中間発表を受けて、更に新しい仮説の設定から実験、検証、考察・まとめのスパイラルが構築されているか。	○	○	○
第3学期	1	探究活動・追実験 課題研究論文化	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動を完成させ、国際的な場面での発表も意識した成果のまとめを行う。		テーマをまとめ自身の将来に適切につなげることができているか。	○	○	○
	2	課題研究論文化 課題研究最終発表	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動を完成させ、国際的な場面での発表も意識した成果のまとめを行う。		テーマをまとめ自身の将来に適切につなげることができているか。	○	○	○
	3	課題研究論文化 SSH成果研究発表会	文理等の学問領域に捉われず、科学的な視点を織り交ぜながら探究活動を完成させ、国際的な場面での発表も意識した成果のまとめを行う。		テーマをまとめ自身の将来に適切につなげることができているか。	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。